

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名 <b>イラプション</b>	投球者 <b>徳江 和則</b>	センター <b>平和島スターボウル</b>
RG <b>2.460</b>	$\Delta$ RG <b>0.040</b>	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

**テストボール：イラプション**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  インチ

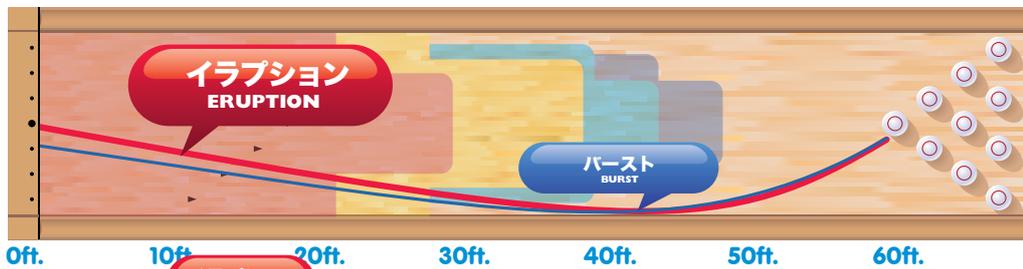
表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

**比較対照ボール：バースト**

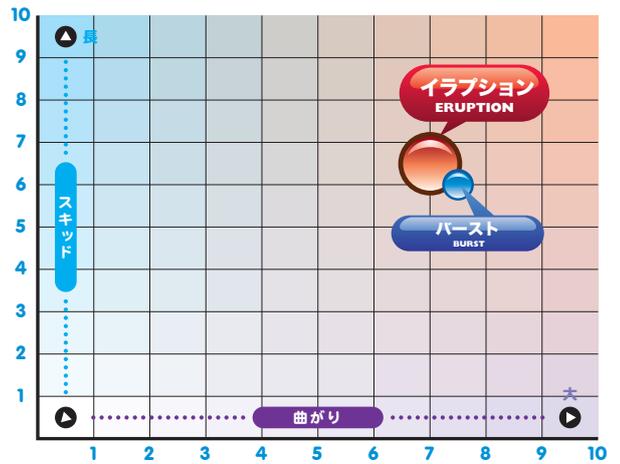
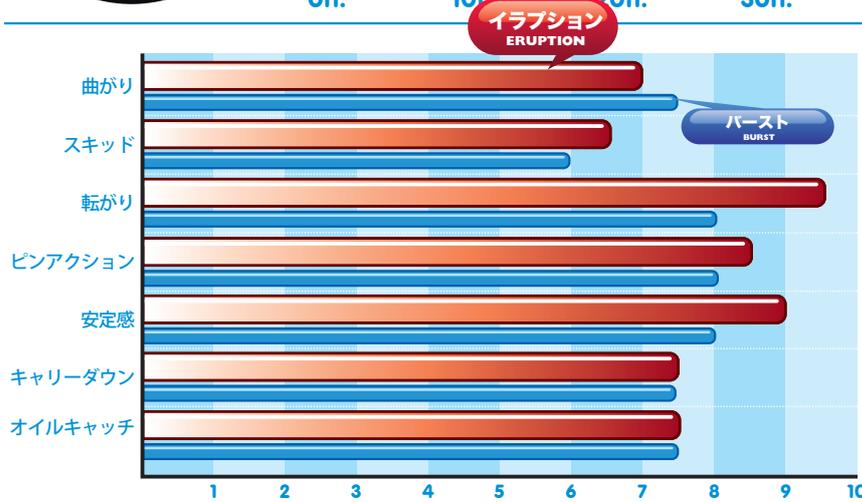
フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レンジス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

### ボールの評価

今回コロンビア社が拘った「ミッドプライスにおける性能と質」。ミディアムコンディションにおいて他を寄せ付けぬ抜群のコントロール性能とピンヒットまで転がり続ける曲がりの持続性。

なんと言ってもこのEruptionのほかに感じられない特筆な部分は「転がり続ける持続性」と「対応コンディションの幅」でしょう。「良く転がる」というイメージが第一印象で、派手に切れ込むような暴れる性能分布のボールではないのですが、ミディアムコンディションを中心に「ラインより内・外」の幅をリアクションイメージを変えずにポケットヒットできる融通さを感じたこと。また回転動力が失うどころか、加速しているかのように思える回転がピンに絡み、ピンアクションまで反映されていること。さらに転がすことを意識しながら、またストロークさせながら直線的にもラインを描ける万能も私の中では好印象で、フランチャイズのコンディションではかなりポケットヒットしやすい高得点を導き出せる性能だと感じました。

このEruptionに採用されたNEW ERA SKID FLIPカバーストックは前モデルでもあるバーストやOutバーストのカバーストックと比べると、オイルに対しての濃淡におけるリアクションの差も軽減されており、走りの中にも持続的なキャッチを感じる上質なもので、転がり感を伴うことでよりコントロール性が向上されているよう分析致しました。

テストの段階で転がるボウラーや私のように平均的なタイプのボウラーまでパフォーマンスが同じように感じられたのはどのようなボウラーでも扱い易く使える性能であることは言うまでもなく、さまざまなタイプのボウラーに安定したライン取りを供給できるということでしょう。

### 特記事項

走りの中にも持続的なキャッチを伴い、ピンヒットまで持続的に転がる、「自分のボールが転がっている」と思ってしまうほどの転がりの良さ。フランチャイズのコンディションで高得点を見出せる、そんなボールです。